

佐賀県電子入札システム調達に関する情報提供依頼書

1 目的

電子入札システムは、入札等業務の効率化のため、「電子入札コアシステム開発コンソーシアム」が提供する全国共通の電子入札コアシステムをベースに開発されたシステムにより、公共工事に係る建設工事、建設関連業務委託の調達及び物品の調達に係る入札等業務について、発注者及び受注者が、インターネット回線を利用して全てを行うシステムです。

現行の委託契約期間は令和9年3月31日までであるため、今回、契約更改のタイミングに合わせ、利便性、拡張性、汎用性を向上させるとともに更に経済合理性の高いシステムを調達する予定です。

本情報提供依頼は、新システムの調査・検討を進めるにあたり、新システムに求める機能、当該機能を実現させるための方法、コスト評価等について、事業者などから広く意見を収集し、今後実施を予定している調達仕様書作成の際に参考情報として活用するため、積極的な情報提供を求めるものです。

2 業務概要

別紙「業務フロー図」を参考にしてください。

年間の事務処理量等

(1) 想定する端末数

発注者（県）：約80人、

受注者（建設業者等）：約1,200社（者）

(2) 処理件数実績（件数）

令和2年度 4,805件（工事・委託：3,507件 物品：1,298件）

令和3年度 4,559件（工事・委託：3,340件 物品：1,219件）

令和4年度 4,206件（工事・委託：3,263件 物品：943件）

令和5年度 3,655件（工事・委託：2,958件 物品：697件）

平均 約 4,306件（工事・委託：3,267件 物品：1,039件）

3 開発の基本方針

本システムの基本方針については、下記に掲げるものとします。

(1) 安定性の高いシステム

本システムは、ASP方式等であるため、インターネット等を基盤とした通信回線を使用して行うものであることから、運用にあたっては、業務の中断等が発生しない安定性の高いシステムであること。

(2) 高速性が確保されたシステム

本システム利用者のシステム操作時間を最短化し軽快なレスポンスを得

るため、最適化する等、より高速性の確保されたシステムであること。

(3) 信頼性の高いシステム

本システムは、入札に係る重要な情報を通信回線によりやり取りし、また、成り済まし防止等の観点から、確実な認証基盤を持ち、電子入札コアシステムが推奨する証明書検証方式を採用するとともにセキュリティが高く信頼性の高いシステムであること。

(4) 操作性に優れたシステム

本システムの利用者は、コンピュータの専門知識がない者が利用する場合も想定できるため、業務単位、処理機能単位等の細かいレベルまで操作方法について考慮する必要があるとともに、基本操作や画面構成等の統一化を図り、利用者の操作性を高めること。

また、利用者を読みやすく理解しやすい操作マニュアルを作成し、利用者に対する研修、説明会を実施するとともに、操作マニュアルを電子化して操作中の画面からも容易に参照できること。

(5) 経済的で長期的に運用可能なシステム

使用形態を十分に考慮した上でコストパフォーマンスの優れたシステムとすること。

また、長期的な運用に耐え、維持管理費が低廉となるようトータルコストを考慮すること。

(6) 利便性、拡張性の高いシステム

本システムは、ASP方式等であるため、電子入札コアシステムのバージョンアップ等に迅速に対応できること。

また、システム調達後においても、組織改正、制度改正、将来導入されるシステムとの連携や更なるDX化などに備え、機能追加に柔軟かつ低コストで対応できる利便性と拡張性の高いシステムであること。

(7) 運用管理及びメンテナンス機能の充実

運用管理及びメンテナンスの負担を軽減し、また、セキュリティ対策やシステム障害時の対応について十分に考慮されたシステムであること。

(8) ネットワーク及び土木行政システムとの整合性の確保

発注者（県）のネットワークに関しては、既存の庁内ネットワークを活用すること。（佐賀県電子入札システムイメージ図を参照し、他システムとの整合がとれた接続を実現すること。）特に、土木行政システムで管理する業者情報（入札参加資格、格付け及び等級の情報を含む）、案件情報との連携を図り、スムーズで整合性のある連携処理を円滑に実施すること。

4 調達スケジュール（案）

令和7年3月	情報提供依頼（RFI）
令和8年度上半期	調達、契約
令和8年度下半期	開発、試験運用
令和9年4月	本番運用開始

※調達スケジュールは、最終の調達時期であり、上記より早くに実施できる場合は、その時期を明示してください。

※開発作業の規模等により、スケジュールを見直す場合があります。

5 情報提供資料

- (1) 情報提供依頼回答書（別添1）及び回答書を補足する資料（様式任意）
- (2) システム開発スケジュール案

6 資料の提出方法等

(1) 資料の形式

資料については、内容を記録した電子媒体（CD-R又はDVD-Rなど）を併せて、「8 照会及び資料の提出先」に記載する提出先に提出社名又は機関等の名称、担当者氏名、担当者連絡先を明記し電子メールで提出してください。

なお、電子媒体によるファイル形式は「Microsoft Word」、「Microsoft Excel」、「Microsoft Power Point」（カタログ等を添付します場合は、PDF形式による提出も可）で修正可能なファイル形式で作成してください。

(2) 提出期限

令和7年5月16日（金）17時必着
電子メールにより提出してください。

7 本RFIに関します質問及び回答

本RFIに質問がある場合は、以下のとおりとします。

(1) 質問方法

- ①電子メールにて問い合わせてください。
- ② 件名：「佐賀県電子入札システム調達に係るRFIに関する質問」

(2) 質問受付期間

令和7年3月26日（水）～令和7年4月25日（金）17時
令和7年5月9日（金）までに個別に回答を行います。

8 照会及び資料の提出先

佐賀県県土整備部 入札・検査センター
電算担当 吉浦・田中
電話：0952-25-7470
FAX：0952-25-7470
e-mail：nyusatsu-kensa@pref.saga.lg.jp

9 その他

- ・ 情報提供にかかる費用については、各社にてご負担ください。
- ・ 本件情報提供依頼において掲げている新システム導入の基本条件は、実際にシステムを調達する際の仕様・要件定義と内容が一致するものではありません。各位から提供された情報その他を総合的に勘案した上で、今後正式な仕様書を提示して調達を行う予定としています。
- ・ 提供された資料に関しては、返却しません。
- ・ 本 RFI に伴い、本県が提供します資料及び質問回答の内容は、第三者への開示及び他の用途への流用を禁じます。
- ・ 本情報提供依頼にかかわる資料作成、提出等に要する経費は各情報提供業者のご負担でお願いいたします。